

危険物取扱者試験 受験案内

(令和7年度 後期試験)

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により、山口県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

試験日：**11月15日（土）**
11月16日（日）

- 受付期間終了後は、試験日や受験地、試験種類の変更、申請の取りやめはできません。
- 受験案内は、最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申込みください。
- 申し込まれた方は、受験案内の記載事項に同意されたものとみなさせていただきます。
- この受験案内は、受験願書提出後も、試験結果の通知があるまで大切に保管してください。
- 身体の障害等により受験に際して必要な配慮（車椅子、補聴器等の使用など）を希望される場合は、受験申請をする前にご相談ください。なお、内容によっては、御希望に沿えない場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

■ 受験申請の受付期間（具体的な申請手続は、この案内でご確認ください。）

書面・電子申請 8月29日（金）から9月11日（木）まで

- 1 試験手数料は、次のとおりです。

甲 種	乙 種	丙 種
7,200円	1種類につき 5,300円	4,200円

- 2 **電子申請**（インターネットからの受験申請）も利用できます。
詳しくは、消防試験研究センターホームページ及び5ページをご覧ください。
（ホームページアドレス <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>）
- 3 **受験票**は、**11月4日（火）に発送**（電子申請した方にはメール通知）予定です。試験当日は、受験票に写真を貼って持参してください。
- 4 **合格発表日**は、**12月8日（月）**です。
- 5 過去に出題された試験問題の一部を消防試験研究センターのホームページで公開しています。受験の参考にしてください。

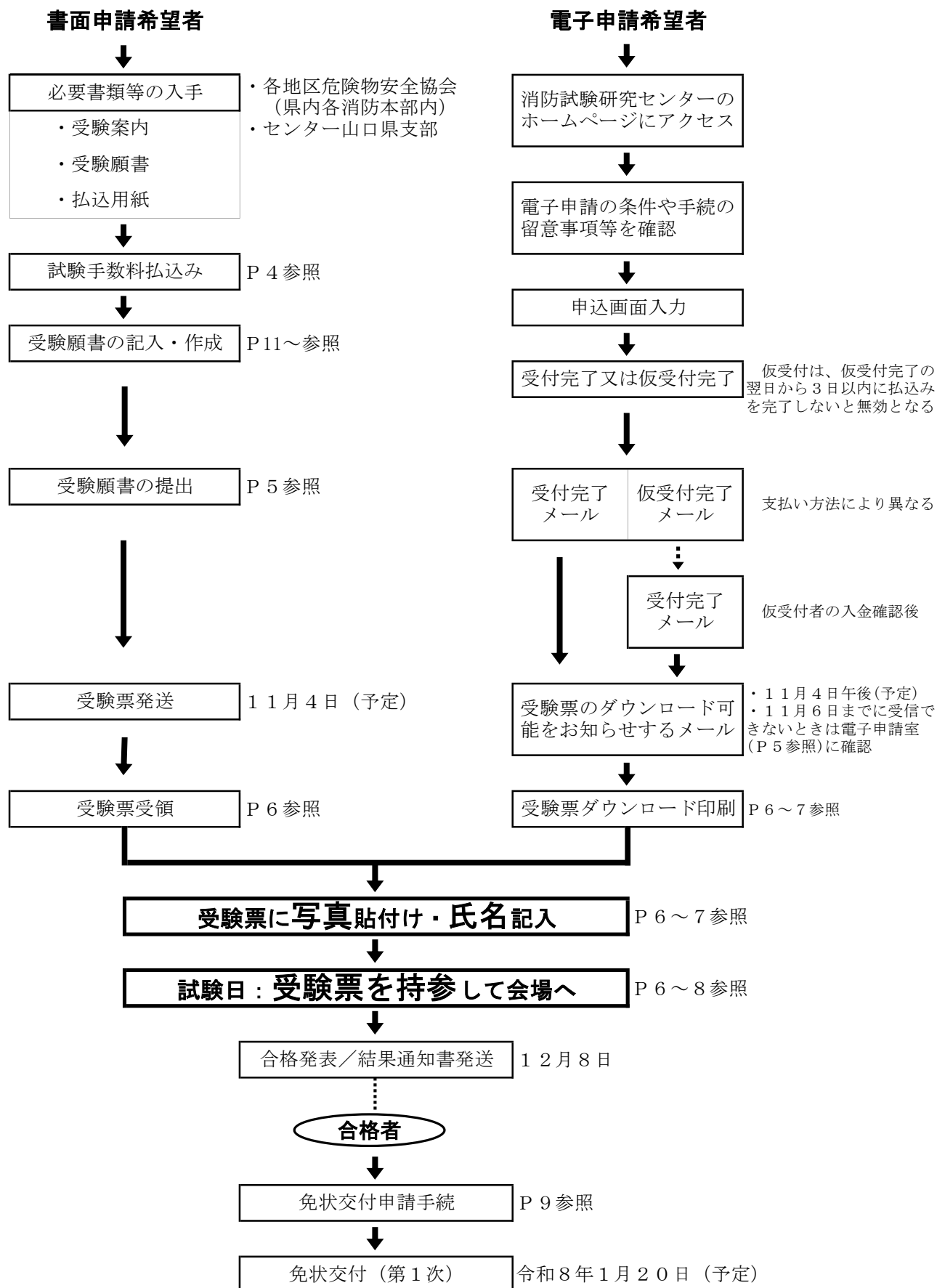
一般財団法人 消防試験研究センター 山口県支部

〒753-0072 山口市大手町7-4 KRYビル5階
電話：083-924-8679 F A X：083-924-8694

目 次

◆ 受験申請から免状交付までの流れ ◆	1
1 試験の種類	2
2 受験資格	2
3 試験日時、受験地等	2
4 同一試験日における複数種類の受験	2
5 試験の方法	3
6 試験科目、問題数、試験時間	3
7 試験の一部免除	3
8 合格基準	3
9 合格発表	3
10 試験手数料	4
11 受験申請	4
12 書面申請による受験手続	4
13 電子申請による受験手続	5
14 受験票の送付・印刷	6
15 受験票の確認、写真の貼付け等	6
16 試験当日の注意事項	8
17 大規模災害等による試験の延期等	8
18 合格後の免状交付申請手続	9
19 その他の留意事項等	10
20 個人情報の取扱いについて	10
● 受験願書の記入要領	11
● 受験願書の記入例（A面）	12
● 受験願書B面の表（払込用紙で払い込む場合）	13
● 別表1 甲種受験資格	14
● 別表2 化学に関する学科又は課程等（例示）	15
● 別表3 化学に関する授業科目（例示）	15
● 封筒貼付け用の様式（郵送用・返送用）	18

◆ 受験申請から免状交付までの流れ ◆



1 試験の種類

- (1) 甲 種
- (2) 乙 種（第1類・第2類・第3類・第4類・第5類・第6類）
- (3) 丙 種

2 受験資格

- (1) 甲種
別表1「甲種受験資格」（14ページ）に記載の受験資格が必要です。
- (2) 乙種及び丙種
受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

3 試験日時、受験地等

土曜日と日曜日の両方の試験日に申請することも可能です。（同じ種類も受験可能）

試験日	受験地 (注1)	試験の種類				
		乙種第4類 (注4)	甲 種	乙種（第1・2・3・5・6類）		丙 種
				1種類受験	複数受験	
11月15日 (土曜日)	山 口 市	●	●	●	● (注2)	●
	萩 市	●	—	—	—	—
	岩 国 市	●	●	●	—	●
	光 市	●	—	—	—	—
	美 祢 市	●	—	—	—	—
	周 南 市	●	●	●	● (注2)	●
	山陽小野田市	●	—	—	—	—
11月16日 (日曜日)	下 関 市	●	●	●	● (注2)	●
	宇 部 市	●	●	●	—	●
	防 府 市	●	●	●	—	●
	下 松 市	●	—	—	—	—
	長 門 市	●	—	—	—	—
	柳 井 市	●	—	—	—	—
試験会場		後日、受験票に記載してお知らせします。（注3）				
集合時間（両日共通）		9:30	13:00			
試験時間（両日共通）		10:00～12:00	13:30～16:00	13:30～15:30	13:30～14:40	13:30～14:45

注1 試験日により受験地(市)が異なり、受験地(市)により実施する試験種類が異なります。

よく確認の上、申請してください。（●印のある市で試験実施）

注2 乙種免状所持者は、乙種（第1・2・3・5・6類）試験を同一時間帯に2種類受験できます。

注3 試験会場は、申請状況により決定し、後日、受験票に記載してお知らせします。

注4 会場の収容数が不足する場合、乙種第4類の試験を午後も実施する場合があります。

4 同一試験日における複数種類の受験

- (1) 複数受験（2種類受験 …… 午後の乙種2種類を同時受験）
乙種の危険物取扱者免状所持者は、同じ試験日の午後の乙種（第1・2・3・5・6類）試験のうち、同時に2種類まで受験ができます。
- (2) 併願受験（2種類受験 …… 午前の1種類と午後の1種類を受験）
同じ試験日の午前の乙種4類と午後の甲種、乙種（第1・2・3・5・6類）、丙種のうちの1種類、計2種類の受験ができます。
- (3) 複数受験＋併願受験（3種類受験 …… 午前の1種類と午後の2種類（複数）を受験）
乙種の危険物取扱者免状所持者は、同じ試験日の午前の乙種4類と午後の乙種2種類、計3種類の受験ができます。

5 試験の方法

甲種及び乙種試験は五肢択一式、丙種試験は四肢択一式の筆記試験です。

6 試験科目、問題数、試験時間

種類	試験科目	略称	問題数	合計	試験時間
甲種	①危険物に関する法令	法令	15問	45問	2 時間30分
	②物理学及び化学	物化	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	20問		
乙種	①危険物に関する法令	法令	15問	35問	2 時間00分
	②基礎的な物理学及び基礎的な化学	物化	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10問		
丙種	①危険物に関する法令	法令	10問	25問	1 時間15分
	②燃焼及び消火に関する基礎知識	燃消	5問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10問		

7 試験の一部免除

(1) 甲 種

甲種危険物取扱者試験は、試験の一部免除がありません。

(2) 乙 種

乙種危険物取扱者試験における試験の一部免除については、下表のとおりです。

免 除 資 格 者	免除類別	免除科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全 類	① 法令	全部免除	0問	10問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消	免除なし	10問		
火薬類免状を有する方で科目免除を申請する方	第 1 類 及び 第 5 類	① 法令	免除なし	15問	24問	1 時間30分
		② 物化	一部免除	4問		
		③ 性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ、火薬類免状を有する方で科目免除を申請する方	第 1 類 及び 第 5 類	① 法令	全部免除	0問	5問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消	一部免除	5問		

(注) 火薬類免状：甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）

：甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

(3) 丙 種

丙種危険物取扱者試験における試験の一部免除については、下表のとおりです。

免 除 資 格 者	免除科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	① 法令	免除なし	10問	20問	1 時間00分
	② 燃消	全部免除	0問		
	③ 性消	免除なし	10問		

8 合格基準

甲種、乙種、丙種試験とも、試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること
なお、試験の一部免除がある場合は、免除された問題以外で上記の成績であること

9 合格発表

(1) 合格発表日：12月8日（月）

(2) 山口県支部（K R Yビル）5階の掲示板に合格者の受験番号を公示するとともに、発表日の正午過ぎから当センターのホームページに合格者の受験番号を掲示します。

(3) 受験者全員に結果通知書を郵送します。（電話による問合せには一切応じられません。）

10 試験手数料（消費税非課税）

甲 種	乙 種	丙 種
7,200円	1種類につき 5,300円	4,200円

※ 受理した受験願書の試験手数料は、お返しできません。

11 受験申請

受験の申請方法は、次の2通りがあります。

書面申請：受験願書の郵送又は持参による受験申請（手続の詳細は次の12のとおり）

電子申請：インターネットからの受験申請（手続の詳細は5ページの13のとおり）

12 書面申請による受験手続

(1) 書面申請に必要な書類

① 受験願書

2種類又は3種類受験する方は、受験する種類ごとに願書が必要です。

② 証明書類等

ア 既得免状の写し（コピー）

既に、危険物取扱者免状を取得している方は、既得免状の写し（表・裏）

イ 甲種受験者

14ページ記載の甲種受験資格に対応する証明書類

ウ 乙種受験者（1類と5類に限る）

火薬類免状により試験科目の免除を受ける方は、3ページの7の(2)の（注）に記載された該当免状の写し（コピー）

エ 丙種受験者

試験科目の免除を受ける方は、3ページの7の(3)の免除資格者欄に記載された勤務に関する証明書と教育に関する修了証明書

③ 試験手数料の払込証明書（郵便局（ゆうちょ銀行）に払込用紙で払い込む場合）

所定の払込用紙の赤枠で囲まれた「振替払込受付証明書（お客さま用）」

(2) 試験手数料を払込用紙で払い込む場合の留意事項

① 所定の払込用紙により、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください。（試験手数料の払込みには、別途、払込手数料が必要です。）

② 万が一誤ってATMで払い込んだ場合は、窓口で赤枠の「振替払込受付証明書（お客さま用）」に日附印を受けてください。（日附印のないものは受付できません。）

※ 現金払込に限ります。（通帳振替では、窓口で押印してもらえません。）

※ 日附印の押印で問題が生じたときは、「ゆうちょコールセンター(0120-108-420)」にお問合せください。

③ 試験手数料の金額を私的に訂正したものは無効です。窓口で訂正印を受けてください。

④ 同一試験日の複数受験や併願受験は、試験手数料を合算して払い込むことができます。

〔例〕 甲と乙4＝12,500円、乙4と丙＝9,500円、複数受験＝10,600円 など

⑤ 同一試験日の複数受験や併願受験の願書は、まとめてホッチキス留めしますが、合算払込みしたときは、一番上になる願書に日附印のある証明書を貼付け、その他の願書は、払込証明書を貼り付ける枠の中の氏名欄に「複数」や「併願」と記入してください。

⑥ 証明書を紛失した場合、再度、払込みが必要となりますので、大切に扱ってください。

(3) 試験手数料を受験願書B面の2次元コード経由で払い込む場合の留意事項

- ① 受験願書B面内「◎2次元コード経由で払込みの場合」の注意書をご覧ください。
- ② 必ず決裁完了番号（18桁）を受験願書B面の所定欄に記入してください。
（試験手数料の払込みには、別途、払込手数料が必要です。）

(4) 受験願書の記入要領等

① 受験願書の記入要領

11ページからの記入要領、記入例に従って記入し、必要な書類等を貼付けてください。

② 試験日が同じ複数受験、併願受験に係る受験願書の留意事項

ア 受験願書の整理

複数受験（2種類）又は併願受験（2種類）若しくは複数と併願受験（3種類）をするときは、2種類又は3種類の受験願書を全てまとめ、左上角をホッチキスで留めて提出してください。（順番は、乙4、甲、乙（1・2・3・5・6）、丙の順で整理）

イ 複数受験、併願受験の受験地

- ・ 複数受験の受験地は、「下関市」、「山口市」、「周南市」のいずれかです。
- ・ 併願受験の午前と午後の受験地は、同一の受験地としてください。

(5) 書面申請の受付期間

8月29日（金）から9月11日（木）まで

- ① 郵送での受付は、書面申請受付期間最終日の消印があるものまで受け付けます。
- ② 受付開始前に届いた願書は、原則、申請者負担で返送します。改めて提出してください。
- ③ 受付期間終了後に届いた願書は、原則、申請者負担で返送します。

(6) 受験願書の受付場所、受付方法等

下記のいずれかの受付場所に指定の方法により提出してください。

- ① 各地区の危険物安全協会等（各消防本部予防課内・②を除く。）…………… 窓口へ提出
- ② 柳井地区広域消防本部及び宇部・山陽小野田消防局小野田消防署…………… 窓口へ提出
- ③ 一般財団法人消防試験研究センター山口県支部…………… 窓口へ提出又は郵送
※ 郵送の場合は、願書を折り曲げずに、そのまま入る封筒を使用してください。
- ④ 窓口の受付時間は、土日、祝日を除く、平日の8時30分から17時15分までです。

13 電子申請による受験手続

(1) 電子申請の受付期間

8月29日（金）の午前9時から9月11日（木）午後23時59分まで

※ 上記期間中は、システムメンテナンス中（8月30日（土）及び9月6日（土）の午前3時から午前5時まで）を除き、24時間受け付けます。

(2) 電子申請手続

電子申請は、一般財団法人消防試験研究センターのホームページから、電子申請の詳細や電子申請手続きの注意事項等を十分に確認の上、行ってください。

●電子申請に関する問合せ先

問合せ先	一般財団法人 消防試験研究センター 電子申請室
専用電話	0570-07-1000（有料）
受付時間	9：00～17：00（土日、祝日を除く。）

14 受験票の送付・印刷

(1) 書面申請をした方

11月4日（火）に発送（予定）

受験票は、圧着ハガキで郵送します。11月11日（火）までに届かない場合は、11月12日（水）以降に消防試験研究センター山口県支部（083-924-8679）へお問合せください。

なお、お問合せは、遅くとも11月13日（木）までをお願いします。

(2) 電子申請をした方

11月4日（火）に電子メール送信（予定）

書面申請者への受験票発送に合わせて、電子申請時に登録したメールアドレスに受験票がダウンロードできる旨のメールを当センターから送信します。受験者本人が受験票をダウンロードして印刷してください。

なお、11月6日（木）までにメールが受信できない場合は、電子申請室（5ページ参照）にお問合せください。

15 受験票の確認、写真の貼付け等

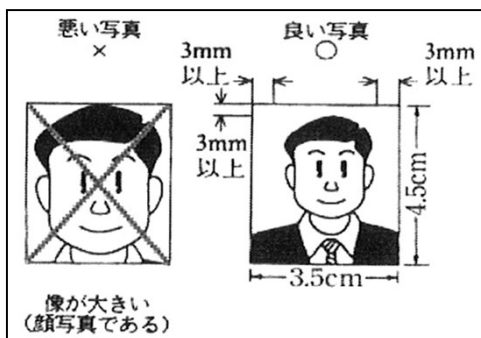
(1) 受験票の確認

- ① 受験票記載の試験種類、試験日時、試験会場、免除科目などを必ず確認してください。
- ② 氏名等に誤りがある場合は、試験当日の事前説明時に監督者が確認しますので、その際に申し出てください。

(2) 受験票への写真の貼付け

- ① 試験当日は、規格に適合した写真を貼った受験票を持参しないと受験できません。
- ② 受験票の写真は、受験者本人の確認及び合格時の免状の作成に使用します。
- ③ 下記の条件に適合する写真を受験票にのりで貼って、試験当日持参してください。

- ・ 6か月以内に撮影された鮮明なもの（カラー、白黒のどちらでも可）
- ・ **サイズは縦4.5cm、横3.5cm**で、ふちなし、正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景の上三分身像のもの、又は、パスポート規格のもの
- ・ デジタル写真は写真専用紙を使用し、ドット（網状の点）やにじみ等がないもの
- ・ はがれたときのため、写真の裏面に氏名、年齢、撮影年月日を記入してください。



【不適切な写真例】

- ・ サングラスやマスク、帽子を着用しているもの
- ・ 頭や顔の一部が切れているもの
- ・ 頭髪が目にかかっているもの
- ・ 写真の表面にキズがあるもの
- ・ 眼鏡のフレームやレンズに照明による反射があるもの
- ・ 背景に壁の模様などが写っているもの
- ・ 写真をカラーコピーしたもの

(3) 氏名の記入

受験票の氏名欄に、受験者の氏名をかい書で記入してください。

(4) 受験票の持参（試験当日）

① 書面申請者

「受験票」と「受験票（控）」を切り離し、受験票に写真を貼って持参してください。（受験票（控）は大切に保管してください。）

② 電子申請者

印刷した受験票の下半分の「受験票（控）」を切り取り、「上半分」を山折りにしてのり付けし、受験票に写真を貼って持参してください。（受験票（控）は大切に保管してください。）

【書面申請者の受験票イメージ】

郵便はがき

料金後納
郵便

親展

999-9999
〇〇県〇〇市〇〇町
1-23-45

消防 太郎 様

受験票
 一般財団法人 消防試験研究センター 〇〇県支部
 〒123-4567
 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町 1-23-45
 〇〇市センタービル 10 階
 Tel 123-456-7890
 999 9999 0001

裏面より開けてください。開いた場合は自然乾燥して開けてください。

危険物取扱者試験 受験票(控)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日[1/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
(試験室)	01001講義室		
免除科目	法令全部・物化全部	資格判定コード	02
既得免状	乙1		

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

危険物取扱者試験 受験票

写真
 縦4.5cm×横3.5cm
 写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載
 6ヶ月以内に撮影したもの
 (正面・無帽、肩背肩の上三分の二又はバストアップ)
 しっかりとのり付けしてください。(セロハンテープ不可)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日[1/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
(試験室)	01001講義室		
免除科目	法令全部・物化全部	資格判定コード	02
既得免状	乙1		

8014211225050E100013 乙免
001-01-0001 00001 (1234)
試験当日、この受験票は回収します。

名前をかい書で記入

写真をのり付け
(セロテープ等不可)

試験当日はこの受験票
のみを切り取って持参

【電子申請者の受験票イメージ】

注 意 事 項

- 1 次の場合は受験することができません。
(1) 受験票がない場合
(2) 受験票に写真を貼っていない場合
(3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 3 受験票、鉛筆(B又はHB)、消しゴムを持参してください。
- 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 6 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いします。
- 7 電話による会合の問い合わせには、応じられません。
- 8 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 9 試験日時の変更が生じた場合は、当センターのホームページに緊急情報又は各支部からの重要なお知らせとして掲示します。

一般財団法人 消防試験研究センター 〇〇県支部
〒123-4567 Tel 123-456-7890
〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町1-23-4〇〇市センタービル 10 階

山 折 り し て の り 付 け し て く だ さ い

危険物取扱者試験 受験票

写真
 縦4.5cm×横3.5cm
 写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載
 6ヶ月以内に撮影したもの
 (正面・無帽、肩背肩の上三分の二又はバストアップ)
 しっかりとのり付けしてください。(セロハンテープ不可)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日[1/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
(試験室)	01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
001-01-0001 00001
試験当日、この受験票は回収します。

危険物取扱者試験 受験票(控)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日[1/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
(試験室)	01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			
受験者現住所			

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

電子申請は受験者本人
が受験票をダウンロードして印刷 (A4 縦)

試験当日は、切り離した
上半分を山折りにし、
のり付けして持参

下半分は切り取り、控
えとして大切に保管し
てください。

16 試験当日の注意事項

(1) 受験に必要な持参物

- ① 適正な写真を貼った受験票
- ② B又はHBの鉛筆又はシャープペンシル及び消しゴム

- **注意！！ 適正な写真を貼った受験票を持参しないと受験できません。**
- 試験当日、受験票の紛失等気づいた方は、午前7時30分以降、消防試験研究センター山口県支部へご連絡ください。（電話：083-924-8679）
- 試験中、机の上に置けるものは、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、一般的な時計のみ（携帯電話、スマートウォッチ等の電子機器類を時計として使用することはできません。）です。これ以外のものは置けません（使用できません。）。
- カンニング等により不正行為とみなされた場合、受験は直ちに中止、退室となり、試験は失格となります。

(2) 試験日時、試験会場の確認

- ① 受験票で試験日時、試験会場等を確認し、集合時間までに試験会場にお越しください。
- ② 試験会場を間違えて来場する受験者がいます。ご注意ください。

(3) 駐車場

試験会場には、受験者専用の駐車場はありません。確実に受験するためには、公共の交通機関を利用してご来場ください。

(4) 消防試験研究センター山口県支部への問合せ

- ① 土日、祝日は休日です。平日の8時30分から17時15分の間にお問合せください。
- ② 試験当日（土曜日・日曜日）は、午前7時30分から連絡体制を整えています。
（電話：083-924-8679）

17 大規模災害等による試験の延期等

(1) 次のような場合は、試験を延期又は中止することがあります。

- ① 大規模な地震、津波、台風などにより、試験会場のある地域に災害が発生し、又は発生する恐れがあるとき。
- ② 気象庁が試験会場のある市に特別警報を発表しているとき。
- ③ 気象庁が試験会場のある市に警報を発表し、かつ、市長が避難指示又は緊急安全確保を会場地周辺に発令しているとき。

(2) 試験を延期又は中止する場合は、センターホームページのトップページに「緊急情報」として掲示します。

(3) 受験者の方は、携帯電話等でホームページを確認するか、あらかじめ、ご家族や職場、学校の友人等に、ホームページの確認と緊急情報が掲載された際に、自身への連絡を依頼するなど、対策をお願いします。

(4) 延期した際の新たな試験日程及び中止した際の試験地・試験日の振替等については、支部のホームページに重要なお知らせとして掲示しますので、ご確認ください。

18 合格後の免状交付申請手続

(1) 免状交付申請に必要な書類等

合格した試験の免状交付申請には、次の書類等が必要です。

① 危険物取扱者試験結果通知書・危険物取扱者免状交付申請書（切り離さない・折り曲げ可）

ア 合格者には、結果通知と一連で危険物取扱者免状交付申請書を送付します。

イ 交付申請書の記載事項に誤りがないか確認し、申請年月日、申請者名（合格者本人）及び連絡先電話番号（勤務先等及び自宅又は携帯番号）を記入してください。

記載事項に誤りがある場合は、赤のボールペン等で修正してください。

ウ 外国籍の方

初めて免状交付申請される方は、氏名を確認するため、住民票やパスポートなどの提示又はコピーを提出してください。

エ 免状への旧姓記載

a 現在、免状を持っていない方で、免状に旧姓の記載を希望される方は、事前に山口県支部までお問合せください。

なお、旧姓が記載された住民票等、公的証明書が必要となります。

bすでに免状をお持ちの方で、旧姓の記載、変更を希望される方は、事前に免状書換手続が必要です。（同時申請可）

オ 手数料として**2,900円分**の**山口県収入証紙**を交付申請書裏面の手数料欄に貼り付けてください

カ 2種類以上合格の方は、それぞれに**山口県収入証紙（2,900円分）**が必要です。

キ **山口県収入証紙**（国の収入印紙ではありません）の**主な販売場所**

山口県収入証紙は、県庁、県の出先機関（県税事務所、健康福祉センターなど）、警察署、市役所、市の総合支所、町役場などで販売しています。

ク **県外にお住まいで、山口県収入証紙の購入ができない方**は、郵便局で手数料相当額定額小為替証書を購入し、その他の必要書類と一緒に同封して申請してください。

② 免状返送用封筒（簡易書留扱い）（折り曲げ可）

ア 定形封筒（縦14～23.5cm×横9～12cm）を使用してください。

イ 封筒の表に申請者（又は勤務先）の郵便番号、住所、氏名を記入してください。

※ 18ページの「あなたあての返送用」を切り貼りするなどして、ご利用ください。

ウ 封筒の**表の下部に受験番号**を記入してください。

エ 封筒に**切手460円分**（簡易書留料金）を貼ってください。

オ 同一人が2種類以上の免状を同時申請する場合は、返送用封筒は1通で結構です。

③ 既に交付を受けている危険物取扱者免状

ア 既に交付を受けている危険物取扱者免状は、必ず同封して提出してください。

イ 免状を紛失している方は、事前に再交付申請の手続きが必要です。（同時申請可）

ウ 免状の携帯義務がある方は、事前に山口県支部にご連絡ください。

(2) 申請書等の提出

① 申請書等の提出先

ア 上記(1)の①と②又は①～③の書類等を下記に郵送又は窓口を持参してください。

〒753-0072 山口市大手町7-4 KRYビル5階 一般財団法人 消防試験研究センター山口県支部

イ 通常の郵便物として郵送するか書留等で郵送するかは、ご自分で選択してください。

ウ 郵送の場合は、18ページの「山口県支部への郵送用」を切り貼りするなどして、ご利用ください。（利用は任意）

エ 上記様式を使用されないときは、郵送用封筒の表下部に受験番号をご記入ください。

オ 団体に申請する場合は、事前に山口県支部へお問合せください。

② 窓口持参の受付時間

窓口での受付時間は、土日、祝日を除く、平日の8時30分から17時15分です。

③ 申請書等の提出期限

ア 申請書等は、**12月22日（月）まで**に提出してください。

イ 上記期限までに提出された方の免状は、**令和8年1月20日（火）交付予定**です。

ウ 上記の提出期限を過ぎて提出された方は、免状の交付が遅くなります。

また、試験日から半年過ぎて提出された方は、新たに写真の提出が必要になります。

19 その他の留意事項等

(1) 願書及び試験手数料払込用紙

危険物取扱者試験受験願書及び所定の試験手数料払込用紙は、他の都道府県で実施される危険物取扱者試験に共通の様式です。（全国共通様式）

(2) 受験準備講習、テキスト販売等

① 一般財団法人消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会やテキスト、問題集等の販売は行っていません。

② 講習の実施やテキスト、問題集等の販売については、最寄りの危険物安全協会等（各消防本部内等）にお問合せください。

(3) 不明な点がありましたら、消防試験研究センター山口県支部へお問合せください。

（電話 083-924-8679）

20 個人情報の取扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確かつ安全に取り扱います。

(1) 当センターの個人情報の内容と利用目的は、次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

(2) 当センターは、利用目的達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。

その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し、適切に取り扱います。

受験願書の記入要領

- ・受験願書は、黒色のボールペンで、本人が「かい書」で正しく記入してください。
- ・書き損じたときは、横2本線で消し、次のマスから又はそのすぐ上に正しく書いてください。
- ・年月日が1桁の場合は、前に0を付けてください。（例：8月29日→08月29日）
- ・A面（1枚目）とB面（2枚目）の複写式です。折ったり、曲げたりしないでください。

【A 面】

①	都道府県名は「山口」です。
②	申請日を記入します。（申請日記入例：令和07年08月29日）
③	氏名のフリガナを氏と名に分けて、左詰めで記入してください。 バやピなどの濁点（・）、半濁点（゜）は、1マスを使用し、別々に記入してください。
④	氏名を氏と名に分けて、左詰めで記入してください。外国籍の方は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
⑤	該当する元号に○を付け、生年月日を記入してください。
⑥	現に居住している住所を都道府県名から記入してください。 バやピなどの濁点（・）、半濁点（゜）は、同じマスと一緒に記入してください。 1 段目：「大字」や「字」は省略し、県名から地域名までを記入してください。 2 段目：「丁目」や「番地」、「号」を省略し、数字を「－」でつなげてください。 〔例〕二丁目5番7号 → 2－5－7 567番地の8 → 567－8 3 段目：○棟や△号室の号室なども省略せずに記入してください。 マスの使用方法が違います。
⑦	本籍の都道府県名を記入してください。外国籍の方は「外国籍」と記入してください。本籍コードは、受験願書B面裏にある都道府県等コード表により記入してください。
⑧	自宅又は携帯の電話番号を記入してください。局番等は「－」でつなげてください。
⑨	一般的に通用する範囲で適宜略しても構いません。（例：○○商工高校・□□高専）
⑩	書類不備等での連絡に備え、日中に連絡が取りやすい電話番号を記入してください。
⑪	試験日は、07年11月15日又は07年11月16日と記入してください。
⑫	受験する試験種類に○を付け、乙種受験の方は受験する類を記入してください。
⑬	2 ページの3 の表にある受験地で希望する受験地（「○○市」）を記入してください。
⑭	甲種受験の方は、受験資格を14ページの別表1「甲種受験資格」で確認し、「願書資格欄記入略称」欄に記載の略称を記入してください。 「証明書類」欄に記載してある証明書類は、受験願書B面裏の上部の「各種証明書等貼付欄」にのり付けしてください。 「実務経験」の証明書類は、受験願書B面裏の証明書欄への記入又は証明内容を充足している他の証明書の貼付けでも可ですが、証明する権限を有する方の押印が必要です。 過去に甲種を受験申請された方は、そのときの受験票若しくは受験票（控）又は試験結果通知書を貼付することにより、甲種受験資格の証明書類に代えることができます。（コピー可）
⑮	乙種第1類又は乙種第5類の受験者で火薬類免状を有する方は、火薬類免状による科目免除を「受ける」又は「受けない」のいずれか希望する方に○を付けてください。 なお、「受ける」に○を付けた方は、火薬類免状のコピーを受験願書B面裏の上部の「各種証明書等貼付欄」にのり付けしてください。
⑯	乙種受験者で既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方は、「受けている」に○を付けてください。
⑰	丙種の受験者で記載事項に該当する方は「該当する」に○を付し、該当する事項の証明書類を受験願書B面裏の上部の「各種証明書等貼付欄」にそれぞれのり付けしてください。
⑱	同じ試験日に2種類以上の試験を受験する方は、この受験願書以外で受験する試験種類を記入してください。
⑲	日中の連絡不通が想定される方は、念のためメールアドレスを記入（任意）してください。
⑳	現在の職業等で、該当する番号に1つだけ○を付けてください。（無職の方は㉑です。）
㉑	危険物取扱者免状を有している方は「有」に○を付し、免状のコピーを受験願書B面裏の下部の所定の欄にのり付けしてください。有していない方は、「無」に○を付けてください。
㉒	危険物取扱者免状の写真の下部に記載されている12桁の免状番号を記入してください。
㉓	取得している全ての危険物取扱者免状について、元号コード（昭和3・平成4・令和5）、免状交付年月日、交付番号、交付知事、都道府県コード（受験願書B面裏の表参照）を記入してください。

受験願書の記入例（A面）

複数受験、併願受験をする方は、全部の願書をまとめて、左上角をホッチキス留めして提出してください。

記入要領に従って記入してください。
記入が終わったら、複写が正しくされていることを確認するとともに、必要な証明書類や免状のコピーを所定の貼付欄にのり付けしてください。

危

11

危険物取扱者試験受験願書（全国共通）

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名		山口		申請日		令和 07 年 08 月 29 日	
申請者氏名		ヤマクチ		シロウ		フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください			
氏名		山口		次郎					
5	生年月日	大昭和 47 年 07 月 18 日生		7	本籍	山口		都道府県	本籍コード
	郵便番号	752-0979		8	自宅電話番号又は携帯電話番号	080-8244-4569			
6	住所	山口県下関市大字長府川端		9	勤務先名又は学校名	長府GS			
		5-4-12 試験アパートB棟 302号		10	連絡先電話番号（携帯電話も可）	083-789-1234		内線（ ）	
11	試験日	令和 07 年 11 月 15 日		19	メールアドレス（任意）	@			
12	試験種類	甲種 乙種 丙種 第5類		又は16					
13	受験地	下関市		※2 受験地					
14	甲種受験資格			※3 資格					
15	科目	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を		※4 免除					
16		乙種危険物取扱者免状の交付を		※5 免除					
17		5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に		※6 併願					
18	同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること	甲種 乙種 丙種 第 類							
21	免状取得の有無について記入してください	1 有 0 無		22	免状番号	1353 1234 5678			
23	取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	甲 年 月 日 交付番号		※入力番号		交付知事		コード	
	乙1	年 月 日							
	乙2	5 01 年 08 月 16 日 00444				広島		34	
	乙3	4 21 年 12 月 08 日 00333				福岡		40	
	乙4	4 15 年 11 月 15 日 00222				山口		35	
	乙5	年 月 日							
	乙6	年 月 日							
	丙	3 63 年 08 月 18 日 00111				山口		35	

※団体コード 000 ※受付機関コード 00 ※分類コード 000

（A面）
試験センター発行 507

受験願書B面の表（払込用紙で払い込む場合）

- B面（2枚目）は、A面（1枚目）の複写になっています。
- B面（表）は、試験手数料を払い込んだ証明書を点線枠内に貼りつけるだけです。
- 各種証明書類や免状のコピーは、B面裏の所定の貼付け欄に貼りつけてください。
- **赤枠**の「振替払込受付証明書」に郵便局又はゆうちょ銀行の**日附印**のないものは無効です。

様式第25（第37条関係） 危険物取扱者試験受験願書

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿 都道府県名		申請日		年	月	日
フリガナ						
申請者氏名						
生年月日	大・昭・平・令		年	月	日生	本籍
郵便番号	〒				自宅電話番号 又は携帯電話番号	
住所					勤務先電話番号	
					内線	

◎2次元コード経由で払込みの場合

※令和7年4月1日からご利用いただけます。

左記の2次元コードで手数料の払込みができます。



- ・2次元コードで手数料を払込む場合は、同封されている払込用紙は使用しないでください。
- ・2次元コード読み取り先の注意事項をよくお読みになり、試験日、受験地、試験種類を確認し、記入した願書情報と異なる試験を選択しないようにしてください。
- ・この願書と2次元コードは、固有の識別番号でペアになっております。必ずこの2次元コードを使用してください。

利用できる決済手段：クレジットカード、コンビニエンスストア、PayPay、メルペイ

決済完了番号（18桁）

※必ず決済完了番号を下欄に記入してください。

□□-□□□□-□□□□-□□□□

◎払込用紙で払込みの場合

ここに「振替払込受付証明書」をはってください。

振替払込受付証明書 お客さま用

一般財団法人 消防試験研究センター

00170-3-136220

貼ってください

※受付欄

ATM領収書では受付できません。必ず窓口で日附印の押印を受けてください。

試験手数料

甲種 7,200円

乙種 5,300円

丙種 4,200円

※受験する種類の金額と相違ないか確認してください。

払込取扱票

00 東京

00170-3-136220

一般財団法人 消防試験研究センター

（郵便番号）

住所

氏名

（電話）

・郵便局（ゆうちょ銀行）の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書（お客さま用）」に日附印の押印をうけてください。

・願書には、必ず日附印がある「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼ってください。

金額の訂正は無効です。

ご依頼人欄に、住所・氏名をご記入ください。（承認番号第54476号）

これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

00170-3-136220

一般財団法人 消防試験研究センター

氏名

申請者の氏名

（電話）

（日附印）

料金額

円

備考

振替払込受付証明書（お客さま用）

（郵便局・ゆうちょ銀行・ご依頼人）

この受付証明書に日附印を押印し、依頼人に交付してください。

払込金額

一般財団法人 消防試験研究センター

00170-3-136220

依頼人住所

下関市長府川端5-34-12

試験アパートB棟302号

山口次郎

（電話）080-8244-4569

（郵便局へ）日附印を押印

貼ってください

受験願書に

日附印なき証明書は無効（払込人や消防試験研究センター）

（承認番号第54476号）

別表 1

甲 種 受 験 資 格

次表のいずれかに該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

対象者	大学等及び資格詳細	証明書類	願書資格欄記入略称
① 大学等において <u>化学に関する学 科又は課程を修 めて卒業した方</u> ※ 下線部は別表 2 参照	● 大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 ● 大学、短期大学、高等専門学校、高等学校の専攻科、中等教育学校の専攻科 ● 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	卒業証明書 又は 卒業証書、学位記等 ※学科等の名称が明記されているもの	大学等卒
② 大学等において <u>化学に関する授 業科目を通算し て15単位以上修 得した方</u> ※ 下線部は別表 3 参照	● 大学、短期大学、高等専門学校（高等専門学校は専門科目に限る）、大学院、専修学校 ● 大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 ● 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	単位修得証明書 又は 成績証明書 ※修得単位が明記されているもの	15単位
③ 乙種危険物取扱者免状を有する方	● 乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	乙種危険物取扱者免状 及び 乙種危険物取扱実務経験証明書	実務2年
	● 次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	乙種危険物取扱者免状	4種類
④ 修士、博士の学位を有する方	● 修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方（外国の同学位も含む）	学位授与証明書、修了証明書 又は、学位記、修了証書等 ※学位を取得し、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの。	学位

〔注〕

- ①の高等学校の専攻科、中等教育学校の専攻科は修業年限が2年以上に限ります。
- ①、②の専修学校は修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限ります。
また、表の証明書類のほかに書面が必要な場合があります。詳細はお問い合わせください。
- ③の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書B面裏の様式を使用してください。
- 上表以外にも消防庁長官の定める資格等により、受験資格を有する場合があります。
- 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、そのときの受験票若しくは受験票（控）又は試験結果通知書を提出することにより、受験資格の証明書に代えることができます。（コピー可）
- 各種証明書類については、コピーを提出することができるようになりました。
ただし、証明書原本からコピーを取る際には、証明書類の全体が確認できるもので、印影が欠けていないものとしてください。

別表 2

化学に関する学科又は課程等（例示）

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
ただし、明らかに化学に関する分野と認められないものは除く。（例：人類文化学科）

- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称									
アイエオ	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科		
	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科		
	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科		
	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科		
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科		
	応用生物工学科		サ		材料開発工学科		生物機能工学科	物質分子学科	
	応用生命科学科				材料科学科		生物工学科	物質理工学科	
	応用生命工学科				材料科学工学科		生物資源科学科	プロセス工学科	
	応用微生物工学科				材料加工学科		生物資源利用学科	分子工学科	
	環境生命科学科				材料学科		生物生産科学科	分子システム工学科	
カ	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科		
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科		
	キ	基礎理学科	シ	材料物性学科	ソ	精密素材工学科	マ	分子素材工学科	
		機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科		マテリアル科学科	
		機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科	
		機能材料工学科		色染工芸学科		製薬学科		ム	無機材料工学科
		機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科		ヤ	冶金学科
		機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科			冶金工学科
		金属加工学科		システム量子工学科		総合薬学科			薬科学科
		金属学科		食品科学科		総合薬品科学科			薬学科
金属工学科		食品学科		素材工学科				薬剤学科	
金属材料学科		食品工学科		塗装科		ト		薬品科学科	
ケ	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科		
	原子工学科	食料科学科	醗酵生産学科		窯業工学科				
	原子力科	セ	森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科		
	原子力工学科		製剤学科		物質科学工学科		林産工学科		
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科				

※ 学科の名称にかえて「部門」又は「専攻」等の名称を用いるものは、学科又は課程とみなします。

別表 3

化学に関する授業科目（例示）

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
ただし、明らかに化学に関する分野と認められないものは除く。（例：進化学）

- 2 次の表に示す授業科目

化学に関する授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ オ カ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	カ キ	官能基変換論
	安全管理学		応化・プロセス工学		化工物理学		機器分析
	安全工学		回折結晶学		化工流体力学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
エ	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミックス		化工熱工学		岩石学		金属工学

キ	金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面处理 金属物性	サ	材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元	セ	生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセッシング セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	テ	電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミックス 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニューセラミック学
ケ	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	シ	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論 水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学	ソ	相平衡論 相変態論 素材工学 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 超高温材料 調剤学 鉄鋼材料学 鉄鋼表面处理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学	ト	毒劇物学 特殊機能セラミックス 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニューセラミック学 ニ ネ ノ ハ ヒ
コ	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物学 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学 細胞培養学	ス	セ	タ	チ	テ	

ヒ	表面分析 肥料学	フ	分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学 平衡論 平衡・反応論	ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 免疫薬剤学 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	ユ	有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
フ	ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミックス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学	ヘ	放射線計測学 放射線物性計測学 膜機能工学 マテリアル工学 水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論	メ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	ヨ	窯業工学 窯炉工学 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
		ホ		ヤ		リ	
		マ					
		ミ		ユ		レ	

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号	
甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)	
〇〇年 月 日入学	〇〇科〇〇コース
〇〇年 月 日修了	
氏名 〇〇 〇〇	
年 月 日生	
学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 〇〇 年 月 日 号	
課程の名称	〇〇〇〇専門課程
修業年限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間
上記のとおり証明する。 年 月 日 (専修学校の所在地) 〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇印	

書式例 2 単位修得証明書

〇〇第 号			
単位修得証明書			
〇〇年 月 日入学	〇〇部	〇〇科	
〇〇年 月 日修了			
氏名 〇〇 〇〇			
年 月 日生			
科学に関する科目名	修得単位	科学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2
上記のとおり証明する。 年 月 日 〇〇大学 学長 氏名 〇〇 〇〇印			

※ 証明書の書式は、書式例の内容が記載されていれば自由です。

あなたあての返送用

山口県支部への郵送用

460円分
の郵便切手
を貼ってく
ださい。
(返送用)

--	--	--	--	--	--	--

郵便切手

(申請用)

7	5	3	0	0	7	2
---	---	---	---	---	---	---

山口市大手町7-4 KRYビル5階

(一財) 消防試験研究センター

山 口 県 支 部 行

簡易書留

(切り取り線)

(切り取り線)

(切り取り線)

様

(新規作成免状在中)

(一財) 消防試験研究センター 山口県支部
〒753-0072 山口市大手町7-4 KRYビル5階
電話:083-924-8679

受験番号

—

差出人	住所	〒 —
	氏名	
受験番号		—

次のものが揃っているかご確認ください。

☐ 結果通知書・免状交付申請書

☐ 返送用封筒

☐ 危険物取扱者免状 (ある方のみ)

(切り取り線)

- ※ 必要な部分を適宜切り取り、定形封筒に貼ってご利用ください。(利用は任意)
- ※ この様式の利用の有無にかかわらず、封筒表の下部に受験番号を必ず記入してください。
(2種類以上申請の方は、2段又は3段書きしてください。)
- ※ 申請書裏面に「封筒の裏面に受験番号を記入」とありますが、裏面への記入は不要です。
- ※ 返送用封筒には、あなたの住所、氏名 (又は会社の住所、会社名、氏名) を必ず記入してください。
- ※ この返送用を利用するときは、「様」を消さないでください。
- ※ 返送用封筒への切手 (460円分) の貼り忘れにご注意ください。